令和５年度　理科　授業改善推進プラン

台東区立駒形中学校

	生徒の状況及び実態を踏まえた課題	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
第1学年	台東区総合学力調査の結果より、「知識・技能」の定着に課題があり、小学校での既習事項が身に付いていない。 また、日々の授業における活動や定期考査の結果を踏まえると、観察実験の結果からの考察等、「思考・判断・表現」に課題が見られる。	基礎的・基本的な「知識・技能」を身に付けさせ、それらを活用して「思考・判断・表現」できる力。 知識を定着させ、モデルや図に示しながら覚えたことを使って説明する習慣。	・単元（章）ごとに小テストを実施し、基礎・基本の定着具合を確認する。 ・生徒が苦手意識を抱きやすい内容は、演習問題を用意し、粘り強く取り組ませる。 ・観察、実験の際はレポートを作成させ、考察して結論を導く力を養う。
第2学年	４分野（物理・化学・生物・地学）全体的に、基礎・基本が身に付いていない。特に生命分野の知識・技能が身に付いていない。知識・技能が定着していないため、思考・表現・判断の能力も低くなっているのが課題である。	知識・技能における、全体的な「基礎・基本」となるものの見方・考え方。 教科書の太字語句を正確に覚え、語句について説明ができる知識。	・「めあて」を毎時間明確に提示する。 ・授業の振り返りを「小テスト等」で繰り返し継続指導する。 ・ディスプレイ・映像教材(NHK for School、サイエンスチャンネル等）を活用する。
第3学年	４分野（物理・化学・生物・地学）ともに、昨年度同様、具体的な見方・考え方の枠組みを持つことに課題がある生徒が多く、生徒自身で実験計画を立案したり、実験結果を分析したり解釈したりするところに課題がある。	科学的な課題の解決を目指し、観察や実験で確かめる際の「実験観察器具の操作方法」「分析解釈」。 実験・観察の技量を育成。	・「めあて」を毎時間明確に提示し、努力目標を理解させ授業に取り組ませる。 ・「小テスト等」で振り返りの徹底をし、繰り返し指導する。 ・ディスプレイ・映像教材(NHK for School、サイエンスチャンネル等）を活用する。